

「自律」「尊重」「挑戦」をキーワードに歩みを進めています。

～ 「新聞クイズ」の取組 ～

福山市立大谷台小学校

校長 四良丸 優子

今年度のスタートに当たり、「好きなことを続ける。興味あることをやってみる。そのことを続けていくと得意なことになる。」という話をしました。

毎日文字に触れる、文章を読むことを楽しんでほしいと考え、4月の中旬から「新聞クイズ」にチャレンジをしています。「新聞クイズ」は、新聞記事を読んで、クイズに答える取組です。始めてからすぐに「前に新聞記事を読んでクイズ作りをしていた」と6年生の子が教えてくれました。その後すぐにクイズに答えるだけでなく、子どもたち自身がクイズを作って出すというチャレンジも加えました。クイズを作るということは、その文章をもう一度読み、問いにできそうなポイントを見つける、他者を意識して、どう答えるか考える、文章のどこを読むと答えにたどり着くことができるかなどを考えて作ることが必要になってきます。さらにクイズに出した記事を読んで考えたことを話すこともできます。

新聞クイズを始めて1ヶ月あまり。毎日取り組んでいる子、週末に取り組んでいる子、と様々な方法で継続しています。子どもたちが作ったクイズは誰でもチャレンジできるようにファイリングして校長室に置いています。いつでもスタートできる取組です。今、子どもたちには地域や社会で課題を見付け、解決のために行動する力が求められています。新聞活用をして社会への関心を高め、考えを深める取組を継続し、その力を伸ばしていきたいと考えています。毎日いろいろなことが起きている社会に目を向けて、それを学ぶことが第一歩です。

何に興味を持ち、何に取り組んでいくか、子どもたちの持っているその可能性や力は無限です。これからいろいろなチャレンジをしていきます。

